

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31211	ユニバーサルデザイン universal design	村田 仁	基礎	2	選択	1,2年後期
<b>科目の概要</b>						
<p>「デザイン」という言葉が含む領域はとて広く、今日(こんにち)では、グラフィック、プロダクトのみならず、サービスや組織、コミュニティのあり方などに活用されています。</p> <p>この講義では、実際に身の回りにあるデザインを題材にして、ユーザーに求められていることや、伝えなければならない情報をどのように扱うか。良いデザイン、悪いデザインによって何が起こってくるのかということを考察します。改良点の提案などを通し、実践的に学ぶ時間となります。</p>						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
1	ユニバーサルデザインの概要を理解する。	1	他のデザインとは概要が異なることを理解できていること。			
2	ユーザーのためのデザインプロセス知識を得る。	2	多くのユーザーに、より良いデザインを与えるために何が出来るかを実践する。			
3	デザインのリサーチ、情報収集の訓練を行う。	3	メディアを用いて必要な情報を得ること。			
4	自分のデザインをレポートにまとめる。プレゼンテーションを行う。	4	不要な情報を捨てる方法、意識を得る。ノートデザインする。			
5	他者のプレゼンテーションに対し、課題を見つけ、質問、提案を行う。	5	ノートからレポートに情報をデザインし、更にプレゼンテーションへとデザインを重ねること。			
			他者のプレゼンテーションに向き合い、的確な質問を行うこと。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	講義を受ける基本的な姿勢をもつ。教科書による予習、復習。				
	働きかけ力					
	実行力	期限までに課題を完成させること。				
考え抜く力	課題発見力	情報収集からの分析。精査を行うこと。				
	計画力					
	創造力	情報からの客観的な理論をつくりあげること。				
チームで働く力	発信力	プレゼンテーションで、自身のデザインを的確に情報発信する。				
	傾聴力	学生同士で、デザインのプレゼンテーションを互いに行い、意見を交わす。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	最低限の授業を受ける態度(私語を慎む、欠席、遅刻の対応など)を、社会人としてもつこと。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト「情報デザインの教室」池田和博、丸善出版 / ¥2,800 / ISBN 978-4-621-08272-0						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連、なし						
資格との関連、情報処理士、web デザイン実務士						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
前回の内容をおさえて授業は進むため、復習は必須です。授業を受けるための方法もデザインする時間を持ちますので、ノートのとりかたなどを見直します。			各提出期限の厳守。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	60	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートとして情報をまとめているか。客観的な分析を行なっているか。</li> <li>・デザインについて独自の視野、提案を持っているか。</li> </ul>
成果発表 (口頭・実技)	20	②	・プレゼンテーションとして情報をまとめているか。
		③	・質疑応答を的確に行なっているか。
		④	
		⑤	
		⑤	
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	主体性: 授業で扱うデザインの例を自らの身の回りにつけられるか。
		②	デザインが社会を構成する必要なものであることを理解できるか。
		③	実行力: レポート、プレゼンテーションを計画的に作成できるか。
		④	
		⑤	課題発見力: レポートにて、リサーチを基に課題に目をつけられるか。  創造力: レポートにて、課題を基にデザインを提案できるか。  発信力: 授業内容に対して、ワークショップなどを通して、自分の意見を的確に述べられるか。  傾聴力: 授業全般、プレゼンテーションを傾聴できるか。  規律性: 遅刻、欠席について社会人としての対応を行えるか。
その他			
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
レポート、プレゼンテーションを提出すると共に、独自の視野を持っているか。 無遅刻、無欠席。	レポート、プレゼンテーションを提出すること。 授業内容を理解していること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	授業紹介、講師紹介 / イントロダクション	講義	授業 15 回分の予定を説明できる。	(予習) シラバスを読んでおく。 (復習) 教科書の指定頁 P2～7 を読んでおく。	240	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	デザインの基礎的な概要	講義 小ワークショップ	ユニバーサルデザインであるか否かの違いを説明できる。	(予習) 講義のノートを見直す。 (復習) 教科書の指定頁 P14～25 を読んでおく。	240	主体性 傾聴力 規律性
3週 /	各分野におけるデザインの活用例	講義 小ワークショップ	ユニバーサルデザインであるか否かの違いを、各分野において説明できる。	(予習) 講義のノートを見直す。 (復習) 教科書の指定頁 P34～47 を読んでおく。	240	主体性 傾聴力 規律性
4週 /	デザイン制作のための情報収集と発想法	講義 小ワークショップ	デザインがどのようなプロセスを通して制作されるかを理解できる。	(予習) 自分が興味を持つデザインを選んでくる。 (復習) 教科書の指定頁 P34～35 を再確認する。	240	主体性 傾聴力 規律性
5週 /	ユーザーセンタードデザインについて	講義 小ワークショップ	ユーザーを中心にしたデザインの重要性を理解できる。	(予習) 自分が興味を持つデザインを選んでくる。 (復習) 教科書の指定頁を読んでおく。	240	主体性 傾聴力 規律性
6週 /	ヒューマン・インターフェイス	講義 小ワークショップ	身体とデザインの関係を理解する。	(予習) 自分が興味を持つデザインを選んでくる。 (復習) 教科書の指定頁を読んでおく。	240	主体性 傾聴力 規律性
7週 /	最終課題「既存のデザインをユニバーサルデザインの観点から再デザインする」の解説、自主制作の開始	講義 演習	最終課題の概要が理解できる。	(予習) ユニバーサルデザインについて、自身の興味を短文でまとめておく。 (復習) デザイン計画を立てる。	240	主体性 課題発見力 規律性
8週 /	再デザインするためのリサーチ	講義 演習	自身が再デザインする事柄に対しての情報収集を行えること。	(予習) デザイン計画を立てる。 (復習) リサーチを行う。	240	主体性 実行力 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	再デザインするためのリサーチ	演習	自身が再デザインする事柄に対しての情報収集を行えること。	(予習)デザイン計画を立てる。 (復習)リサーチを行う。	240	主体性 実行力 課題発見力 規律性
10週 /	再デザイン、コンセプト立案	演習	再デザインのコンセプトを文章にする。	(予習)リサーチを基に注意点を挙げておく。 (復習)コンセプト文を推敲する。	240	主体性 実行力 創造力 規律性
11週 /	コンセプトスケッチ	演習	再デザインのコンセプトをレポート化させるための道筋ができていること。	(予習)コンセプトスケッチの下書きを制作しておく。 (復習)デザイン計画の見直し。	240	主体性 実行力 創造力 規律性
12週 /	プロトタイピング	演習	再デザインのプロトタイプを形にする。レポートにまとめる。	(予習)プロトタイピングのためのツールを用意する。 (復習)プレゼンテーションの為の情報整理。	240	主体性 実行力 創造力 規律性
13週 /	プレゼンテーション作成	演習	作成したレポートに基づき、プレゼンテーションの計画と準備を行う。	(予習)プレゼンテーションの為の情報整理。 (復習)プレゼンテーションの為の準備。	240	主体性 実行力 創造力 規律性
14週 /	プレゼンテーション発表。	プレゼンテーション	プレゼンテーションを経たの質疑応答に参加する。	(予習)プレゼンテーションの内容を準備する。 (復習)最終レポート作成。	240	発信力 傾聴力 規律性
15週 /	プレゼンテーション発表。	プレゼンテーション	プレゼンテーションを経たの質疑応答に参加する。	(予習)プレゼンテーションの内容を準備する。 (復習)最終レポート作成。	240	発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力